

-----  
[ 成果情報名 ] いぐさ品種「夕凧」の福岡県における特性

[ 要約 ] いぐさ品種「夕凧」は、「いそなみ」より生育中の花序着生は多いが、収穫物の花序着生は少なく、多収で、茎の太さが細く、変色茎の発生が少ない。豊表の評価も優れる。

[ キーワード ] いぐさ、品種、豊表、夕凧

[ 担当部署 ] 筑後分場・水田高度利用チーム

[ 連絡先 ] 0944-32-1029

[ 対象作目 ] いぐさ

[ 専門項目 ] 品種選定

[ 成果分類 ] 品種選定  
-----

[ 背景・ねらい ]

住宅の洋風化に伴う豊離れや中国産い製品の輸入急増に伴う価格下落によって、福岡県のいぐさ経営農家は、収入が減少しており、多収で高品質の新しい品種への要望が高い。そこで、「いそなみ」に替わる良質安定多収品種を選定する。

[ 成果の内容・特徴 ]

- 1 . 「夕凧」は、多収品種「いそなみ」を母とし、「沖縄太い」自殖種子由来の系統を父として人工交配により育成された品種である。
- 2 . 「いそなみ」と比較した「夕凧」の特性は以下の通りである（表1）。
  - 1 ) 長茎数、収量は多い。
  - 2 ) 生育中の花序着生は多いが、収穫物の花序着生率は少ない。
  - 3 ) 茎の太さは細い。
  - 4 ) 硬度は硬い。
  - 5 ) 先枯長は短い。
  - 6 ) 1 m 乾茎重は重い。
  - 6 ) 部分変色茎は少ない。
  - 7 ) 豊表評価は高い。

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1 . 部分変色茎の多い「いそなみ」に替え推奨品種に採用予定。当面の普及面積は10ha。
- 2 . 早刈(6月刈)栽培では、花序の着生率が高くなり、さらに先刈り前の茎長が短く花序の除去効果が小さいので、春期の地干しが強くなりすぎないように注意し花序の着生防止に努める。
- 3 . 本田植付後に枯死株が発生する事例があるので、苗床の連作は避ける。

[ 具体的データ ]

表 1 生育、収量及び品質

品種名	筑後分場(三潁郡大木町)			現地(柳川市三橋町)		
	夕凧	いそなみ	筑後みどり	夕凧	いそなみ	筑後みどり
先刈前の花序の多少	多	中	中	多	中	中
先刈前の生育						
茎長 cm	80	70	73	62	53	58
茎数 本/株	107	103	109	84	79	78
刈取期の生育						
茎長 cm	143	142	142	155	159	156
茎数(120cm以上) 本/株	53	50	52	83	84	77
茎数(105cm以上) 本/株	94	83	92	116	113	123
収量						
120cm以上 kg/a	65.2	58.2	66.5	100.6	94.3	91.2
105cm以上 kg/a	96.5	88.3	95.4	124.8	115.3	115.1
先枯長 cm	2.1	2.4	3.4	6.3	10.5	6.5
花序着生率 %	1.4	3.6	4.2	0.1	3.8	1.6
茎の太さ mm	1.29	1.33	1.34	-	-	-
硬度 %	73.2	71.7	66.2	-	-	-
1m乾茎重 g/100本	35.3	34.3	35.9	34.1	32.6	35.3
部分変色茎率 %	0.9	13.7	5.5	3.2	6.4	4.9
長茎先枯歩合 %	1.6	3.5	2.5	3.1	4.2	2.7
乾茎色調	濃緑	緑	やや濃緑	濃緑	緑	やや濃緑
畳表評価	3.8	2.4	3.0	-	-	-
製織長 cm/2000本	74.3	73.7	74.8	-	-	-
製織可能枚数 枚/10a	320	321	338	-	-	-

- 注) 1. 筑後分場の数値は平成8～10年度及び16年度の4カ年の平均。ただし、茎の太さ硬度は平成8～10年度の3カ年の平均。製織長、製織可能枚数畳表評価は平成9～10年度の2カ年の平均。現地は平成16年度の数値
2. 茎の太さ、硬度1m乾茎重は120cm以上の長さで選別した。花序着生率、部分変色率、長茎先枯れ歩合は105cm以上の長さで選別した。
3. 乾茎色調、畳表評価(本間麻)及び製織長は120cm以上で選別したいくさを用いた。
4. 製織可能枚数は織込み重量2.5kgで製織した畳表の製織長と刈取期の120cm以上茎数から求めた。
5. 畳表評価は「筑後みどり」を標準(3.0)とし、優れる(5.0)～劣る(1.0)の5段階評価。

[ その他 ]

研究課題名：いくさ優良品種選定

研究区分：経常

研究期間：平成16年度(平成8～16年)

研究担当者：井上拓治、福島裕助、佐藤大和、石塚明子、藤富慎一、住吉強